

平成24年度第5回指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市沖館市民センター
- 2 開催日時 平成25年2月28日(木) 15:25~16:30
- 3 開催場所 青森市沖館市民センター
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 工藤 清泰(市長公室理事)
副委員長 鈴木 裕司(総務部次長)
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)
委員 鈴木 彰夫(東北税理士会青森支部税理士)
 - (2) 制度所管課(事務局) 市民政策課 主幹 福島 清裕
主事 田中 浩司
 - (3) 施設所管課 中央市民センター 副参事 井上 悦子
主幹 白取 範泰
 - (4) 指定管理者 青森市沖館市民センター管理運営協議会
管理責任者 松島 諭

5 議題 委員会によるモニタリング調査

6 会議概要

施設所管課より、所管課の事業報告書等評価結果、モニタリング評価結果に基づき、施設の管理運営状況と所管課の評価内容を説明した。説明の後にヒアリングを行い、ヒアリング終了後、施設内を視察した。

(1) 主な質疑内容

委員：防火管理者を1名配置することになっていますが、どうなっていますか。
指定管理者：6名の職員が資格を有しており、施設には常に防火管理者がいる状況です。

委員：研修の内容・回数はどうでしょうか。
指定管理者：接遇研修等を年3回行っており、市の接遇マニュアルを基に電話対応を主にやっております。

ほかに、年2回防災関連の研修を行っており、7月に実施する訓練では、夏休みの期間中に児童会も含めて訓練を行っております。

また、東青公民館連絡協議会の研修にも参加しております。

委員：再委託している業務は何件くらいありますか。

指定管理者：11件ほどあります。

委員：再委託の市の承認を得る方法はどうなっていますか。

指定管理者：文書で中央市民センターに提出しております。

委員：防災訓練の際は全職員揃わないときの訓練になると思いますが、何か工夫して行っていますか。

指定管理者：毎月第三日曜日が休館日になっておりますので、その時に原則全職員が参

加して行っております。

委員：現金の保管体制はどうなっていますか。

指定管理者：現金取扱者は5人に限定し、出納員の辞令を出しております。

現金は金庫で保管しており、金庫の鍵の保管者も定めております。

委員：鍵の保管者は何名ですか。

指定管理者：2名おります。

委員：その方のいずれかは必ず業務時間中にいますか。

指定管理者：はい。

委員：苦情の把握、また運営への反映の体制はどうなっていますか。

指定管理者：大きな苦情はありませんが、もしあった場合は中央市民センターと連絡をとって対応することとしております。

委員：施設の使用申請について、抽選する部屋を限定して抽選を行うとはどういうことですか。

指定管理者：町会の総会や社会福祉協議会の会議などは、抽選は行わずに貸しております。

委員：公益性が強いものは、優先的にしているということですね。

委員：事業実施結果について、計画通り回数や内容が適正に実施されているということでしょうか。

指定管理者：はい。

委員：事業を実施について、いろいろな形で創意工夫していると思いますが、問題点等がありますか。

指定管理者：特別に問題はありません。事業の企画・立案は女性職員3名が担当しており、女性のアイディアで極力新しいものを取り入れるようにしております。

委員：24年8月のモニタリング評価結果での所管課の指摘事項は改善されていますか。

指定管理者：時間外の割増分の支給がまだ改善されておられません。

委員：指定管理者が指摘されたことをできないとなった場合、所管課としてはどのような対応になりますか。

施設所管課：労働基準監督署に確認して指導したものです。法令に基づくものですので、是非とも改善していただきたいと思います。また、例えば、休館日に全職員が出てきて防災訓練を行うということはすごく理想的なことではあると思いますが、参加しない職員に参加した職員が訓練の内容を伝えるとか、何かやり方を工夫することも必要だと思います。

委員：ほかの市民センターで工夫しているのかもしれませんが、そういう情報を共有したらどうでしょうか。

施設所管課：わかりました。